

平成 13 年度西日本図書館学会秋季研究発表会の感想

小 野 由 香

11月24日、宇佐市民図書館で行われた西日本図書館学会秋季研究発表会へ参加しました。

毎日中学生と中学校の図書館に居る私にとってどの発表も少し難しいものでした。(私の感想も中学生レベルで申し分けありません。)

一人20分という発表では皆さん短かったのではないかと思います。早口で、アレとコレはいわなければ!という思いが伝わってきて、一番前にいた私まで焦りそうでした。

私は発表①(伊東達也氏『本を借りる』ということについての一考察)に興味をもちました。中学校の図書館では、書き込みというより落書きだし、全くコンピューターが入っていないので、かってに持ちだされてもわかりません。「共同でものを所有する」という気持ちが少しでも生まれると違うのに、と思いました。

発表⑤(渡部満彦氏『Web O P A C と連携した資料組織演習』)は用語も全然分からず…本当に難しくてびっくりしました。

すごい事を少しですが勉強できたなあとと思いました。

(おの ゆか 豊後高田市立高田中学校)

